

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10040100

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	4 簡易水道事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 水道の安定供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	老朽消火栓更新事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	更新基数		#N/A	
事業目標	16基	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武市街地区の各所に設置されている消火栓は古いもので55年が経過しており、内部腐食による漏水の発生及び、故障により消火活動に支障を来す恐れがあることから、昭和30年代に設置している老朽化の著しい順から更新を実施するものです。		雄武地区 消火栓更新工事 4基 更新箇所 ・魚田 原田宅前 (S32設置) ・末広一区 雄武小学校前 (S34) ・錦町 味の表前 (S32) ・港町 光陽工機横 (S32設置)	雄武地区 消火栓更新工事 4基 更新箇所 ・幸町 第一分団横 (S32) ・北浜町 片川宅前 (S32) ・魚田 旧鳥谷部商店横 (S32) ・宮下町 神社前 (S32)	雄武地区 消火栓更新工事 4基 更新箇所 ・旭町 花田水産前 (S32設置) ・魚田 西田宅前 (S32設置) ・日の出北町 日の出団地前 (S34) ・新日の出町 消火栓新設	雄武地区 消火栓更新工事 4基 更新箇所 ・潮見町 潮見公住前 (S36設置) ・潮見町 旧吉田商店前 (S37設置) ・日の出仲町 早坂宅前 (S34) ・新沢木 沢木郵便局前 (S48設置)
	・消火栓更新台数 16基					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	20,870	0	4,700	5,170	5,500
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	20,870	0	4,700	5,170	5,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	19,999	0	4,320	4,968	5,333
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	19,999		4,320	4,968	5,333	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		消火栓更新工事 4基 4,320千円	消火栓更新工事 4基 4,968千円	消火栓更新工事 4基 5,333千円 (3基更新、1基新設)	消火栓更新工事 4基 5,378千円
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
			A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		4基	4基	4基
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	92%	96%	97%	98%
	全体達成率	0%	21%	45%	70%	96%
	備考欄					

事業名	老朽消火栓更新事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	水道係長	江田 一夫

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、水道用水	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新整備基数			
【抱える課題やニーズは】	経年劣化による消火活動への支障		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防用水の安定供給確保・強化		更新基数/更新基数実績	①	目標年度	平成29年度
				目標値	4基	
実績値	4基					
達成度	100.0%					
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	住民の生命・財産確保	②	目標年度	平成29年度		
		目標値	〇〇			
		実績値	〇〇			
達成度	#DIV/0!%					
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による消火栓更新の実施	入札により民間業者に発注し、消火栓更新を行った。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経年劣化による消火栓更新は、住民生活を守るうえで町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	消火活動に必要な消防用水が確保された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	老朽度が高い消火栓優先による更新整備及び使用可能消火栓の再使用による経費節減を図ったことは、有効的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> その他	
/課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	住民生活を守るための消防用水が確保されたことは、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
/公平でない		

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
消防用水確保のためには、今後も計画通り事業を進めることが適当であると判断する。		
↓	↓	↓
今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		
消防用水確保のためには、継続現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止